

国市池

(くにいちいけ)



ため池の概要

ため池の所在地

香川県三豊市

ため池の特徴

1597年に築造された国市池は、高瀬町231haの農業用水源として利用されています。

長い歴史をもつ国市池は、「中村古事記」にも記載があり、それによると当初は日本一の大きさを誇る満濃池は別格として、さぬき一番の大きさを誇る「国一池」と呼ばれていましたが、明治初期以降「国市池」と改記されたものです。

国市池は晩秋減水期になるとハマシギ、シロチドリなどがよく見られます。サギ類もこの時期をよく知っていて、コサギ、ダイサギ、アオサギの大群が食物を採りに飛来します。

冬季には淡水ガモ、潜水ガモが多くなり、ピーク時には1000羽を数えます。毎年、珍しい鳥が飛来するため、愛好家に話題となっているため池であります。

また、近接する高校カヌー部の練習場となっており、クラブ活動の始まる夕方になると、池周辺でランニングをしたり、カヌーの練習に打ち込む生徒の姿で賑わいを見せており、地域にとって欠くことのできないため池です。

関連情報

- ・讃岐のため池誌 (編集) 讃岐のため池誌編さん委員会
(発行) 香川県農政水産部土地改良課
- ・中村古事記